

# 関東大会初出場初優勝

## 秋川リトルリーグ ジュニアチーム あきる野

少年野球リトルリーグの「第17回ティールボール関東選手権大会」が5月26日、葛飾区の江田川ライオン野球場で行われ、秋川リトルリーグのジュニア(小高圓行監督)が第3代表グループで初出場・初優勝を達成した。



関東大会には秋川の所属する東京連盟のほか、東京都、神奈川県、北関東の各連盟のジュニアチーム(幼稚園・保育園・小学3年)が参加。各地域の大会上位4チームが出場権を獲得し、関東大会では1位〜4位の同じ順位同士がグループとなって優勝を争った。那大会で3位だった秋川は第3代表グループに入り各連盟の3位チームと対戦。初戦の常陸太田(東関東)とは、初回に2点を先制した秋川が終盤を直撃して12-1で大勝。横浜南葉(神奈川)との一戦では1回裏に3点を奪われたが、その裏に6点を返した秋川が、そのままリードを広げて11-6で勝利。浦和



会場には多くの保護者も駆け付けた

(北関東)との試合も苦も応援に駆け付け、拮抗した展開から4回捕子で2打点を上げた石田夢真選手(南秋原小3年)の母・久美さん「監督を関東大会で初優勝を遂げた。森田(浦和)と対戦した日市小3年)は「ここで優勝し、みんなで感動しなかった。ジュニアでの最後の大会も優勝して、マイナーに上がりたい」と笑顔を見せた。また、関東大会には多くの保護者も駆け付けた。

ジュニアチームを指揮する小高監督は「関東大会では先制されても、選手に落ち着きがあり、全国野球ができた。次の大会で選手はジュニアからマイナーに上がる。このまま明るく、元気に野球を楽しんでほしい」と話していた。1日には、練習場に深井敷和市長らが関東優勝の祝福に訪れた。深井市長は「これからよく練習し、みんなで知覚して、関東大会も連覇を目指してほしい」とし、井上自治委員は「みんなが一生懸命頑張った結果で、家族の努力も実を結んだ」と、田村利光副議長は「優勝はあきる野だけでなく、西多摩の誇り」と選手を激励した。

◇  
四チームでは同時、選手を募集。練習はあきる野市二箇東のあきる野市総合グラウンドC面、土曜日の午前9時〜午後5時。体験も随時受付。詳細はHPへ。  
問い合わせは船野さん(0422-55558・55556)へ。